

2 / 1 6 校長室より 204

私たちは、いつどこで、どんな災難や災害に巻き込まれるかわかりません。

突然起こった事件に巻き込まれることがあるかもしれませんし、先日のような地震で命を失うこともあり得ます。

そう考えると、毎日無事に生きていることの方が奇跡と思えてきます。



そのありがたみをずっと持ち続けられればいいのですが、往々にして忘れてしまいがちです。

その結果、

「あの時が、最後の会話だった」などということがよく起こり得ます。

今このときを大切にし、

二度とこの人に会えないかもしれないと自分に言い聞かせながら

人に優しく接していきたいと思います。

絶対に、後悔しないために…。